

保健福祉委員会

■シルバー人材センター 財政再建への取り組み

委員 今回の緊急雇用創出事業等でシルバー人材センターに委託するものはどのくらいあるのか。

市 33事業中6事業で、平成21年度の金額は4,550万円余、人数は229人を予定している。

委員 シルバー人材センターの仕事を活性化させて、少しでも早く財政再建を成し遂げさせなくてはならない。また、その仕事は特定の人に偏らないように平準化を。

市 緊急雇用創出事業の説明会において、事業計画を組む段階で、できる限りのシルバー人材センターへの配慮をお願いしている。仕事の平準化についても、よく肝に銘じておく。

■東山斎場の建て替え

委員 東山斎場はかなり老朽化している。数年前にも大改修を行っているが、改修ばかりしていても限界がある。早期に建て替えの決断を。

市 現在、本市にとって斎場がどうあるべきか内部で詰めの作業中だ。狭い、古いという共通認識はできているので、前に進めていく努力をしたい。

環境消防水道委員会

■先行取得した土地の 買い戻し手法

委員 当初、西部リサイクルプラザ整備事業用地だった土地を、現在は民間企業に貸し付けている。明確な事業目的がある場合

に限って、公社から買い戻すというこれまでの原則が変わるのか。

市 民間事業者への貸し付けを目的とした公社の土地について、地方債の利子相当額の回収が確実に見込まれる場合には起債を充当できるという国の財政措置が創設され、買い戻す。

委員 土地の先行取得、事業目的の変更などが当局と土地開発公社の間で行われるが、議会の議決事項ではない。市が直接購入すれば問題ないが、この手法を継続すれば、岡山市の土地購入の是非について審査ができない。今後は改善してほしい。

経済委員会

■米粉推進事業の効果

—地場産米の消費拡大と食料自給率の向上を図るため、パン、めん等の材料として米粉の生産、消費拡大を推進し、米粉製粉機の導入支援をはじめ、原料米の安定供給体制の確立等を目指す米粉推進事業—

委員 事業の効果は。

市 米粉製粉機を市内の農協に設置することで、現在よりもコストを引き下げられる。流通経路がより明確になり、米粉を使う者も安心であるため、導入を考えている。また、高品質な米を出荷するための補助や米粉と小麦粉との価格差の一部を補てんすることで、一般の米粉と同品質、もしくはそれ以上のもの

をより安く供給できる。

建設委員会

■緊急経済・雇用対策の 執行体制

委員 平成21年1月に緊急経済・雇用対策のため補正予算を組んだが、そのまま翌年度に繰り越すのは、それにふさわしい執行体制がとれていないからでは。

市 現在の経済状況を考慮し、景気対策として切れ目なく工事を発注するため、年度内入札ができるようにしている。

委員 予算を組んだのならば、事業執行に責任を持てる体制が必要だ。特別な執行体制が取れないか検討してほしい。

■市全体の連携による雨水対策

委員 雨水対策は下水道局が率先して取り組まなければならないと思うがどう考えるのか。

市 全庁的に各部局の連携が必要で、下水道局では現状の把握とネットワークの組み方について検討を始めたい。

委員 公園や水路の地下に管きよを設置して水をためる方法などの検討をしてほしい。



豪雨対策のため工事が進む瀬戸雨水幹線